

平成 29 年 7 月 28 日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社
 代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
 (コード番号 4722 東証第一部)
 問合せ先 執行役員 中島 由彦
 (TEL (03) 5740 - 5724)

平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結業績のお知らせ

1. 平成 29 年 12 月期第 2 四半期連結業績について：

当社グループの当第 2 四半期（平成 29 年 1 月 1 日～平成 29 年 6 月 30 日）の連結業績は、

売 上 高	17,265 百万円	(前年同期比 0.2%増)
営 業 利 益	1,912 百万円	(前年同期比 1.3%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,487 百万円	(前年同期比 31.7%増)

となりました。各セグメントの業績については以下のとおりです。

(1) IT コンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社は、新規に獲得した小売業、新聞社、及び物流会社の大型プロジェクトの売上が伸びたほか、首都圏の複数の銀行向け渉外・融資支援システム「金融クラウド」の開発や F X 会社の取引システムの更改プロジェクトを進めました。他方、前年同期において売上の大きかったプロジェクトの開発が完了したことにより、前年同期比で売上高・営業利益とも減少しました。

株式会社ワイ・ディ・シーは、製造業を中心にシステム開発の受託開発や自社製品のライセンス販売が好調に推移し、連結売上高と営業利益に貢献しました。

FutureOne 株式会社は、前年同期に比べ多くの中堅企業顧客のプロジェクトを受注して開発を進めたことに加え、自社製のパッケージソフトの外部パートナーへのライセンス販売も増加したことから売上高・営業利益とも前年同期比で大幅に改善しました。

この結果、本セグメントの売上高は 14,288 百万円(前年同期比 14.7%増)、営業利益は 2,050 百万円(前年同期比 2.4%増)となりました。

(2) ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、プライベートブランドのアウトドア用品やトレーニング用品を中心として売上高は前年同期比で13.8%増加しましたが、粗利率の低下や輸送費等の増加により、営業利益は減少しました。

東京カレンダー株式会社は、自社制作の動画コンテンツに注力した効果が現れ、6月の月間ページビューが昨年末の3,000万から4,000万に拡大し、ウェブ広告の売上が増加しました。また、雑誌の販売も第2四半期に好調であったこともあり、前年同期比で売上が35.6%増加し、赤字幅が縮小しました。

コードキャンプ株式会社は、オンラインプログラミング講座の売上の継続的な拡大や転職希望者のためのエンジニア養成・就職紹介プログラムが売上への貢献したことにより前年同期比で売上高が41.1%増加しましたが、人員採用や広告宣伝費などの先行投資により、営業赤字が継続しております。

この結果、本セグメントの売上高は3,088百万円（前年同期比18.7%増）、営業損失は175百万円（前年同期は152百万円の損失）となりました。

（注）上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

平成28年4月1日付で持株会社体制への移行により組織体制を整備したため、前第2四半期連結会計期間より、従来「ITコンサルティング事業」に含めていたグループ運営に係る費用をセグメント利益の調整額に費用として計上する方法に変更し、各グループ会社からの業務委託料やグループ成長支援料等をセグメント利益の調整額に収益として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間より、「ITコンサルティング事業」と「パッケージ&サービス事業」を1つのセグメントに集約し、セグメント名称を「ITコンサルティング&サービス事業」に変更しております。なお、前年同期比については、前第2四半期連結累計期間の数値を変更後の報告セグメントの区分及び測定方法に組み替えた上で比較を行っています。

2. 今後について：

(1) ITコンサルティング&サービス事業

当社グループでは、顧客のビジネスやITの仕組みの改革に貢献するために、次のような戦略を基にITコンサルティング&サービスを提供してまいります。

- ①経営革新・業務改革・システム改革を三位一体として捉え、最新のグローバルなIT技術やリアルタイムなデータ処理を可能にする自社製コンポーネント (Future Component)

を活用することによって、グラウンドデザインから設計、開発、保守運用に至るまでの一貫したサービスを提供する。

- ② ブラックボックス化したレガシーシステムを科学的に分析し、最新のオープンシステムとして再構築する手法（Future Formula）を用いて顧客の複雑化、重層化した基幹システムを刷新する。
- ③ 独自のプロジェクト・モニタリングとマネジメント手法（Future Navi、Futurefraqta）を活用して、短期間で品質の高いシステム設計や開発を実現する。

今後はさらに、次のような取り組みにも注力してまいります。

1. 最先端技術を活用したイノベーションの提供

当社グループでは、工場の製造工程における設備などから収集した大量のプロセスデータや稼働情報をクラウド上で統合管理してリアルタイムに分析する IoT プラットフォームサービス「Future IoT」を開発し、ウシオ電機株式会社を始めとして、顧客への提供を開始しております。また、自動発注や需要予測のシステム及び画像認識サービス、などの AI を活用したシステム構築の知見やノウハウを基にして AI 活用コンサルティングサービス「Future AI」の提供を開始しております。今度とも AI、IoT、ビッグデータを活用したより高度で最新の IT 技術の研究開発を進めながら、これら最先端技術を利用して、顧客の具体的な課題解決やイノベーションに貢献してまいります。

2. 流通クラウドなど独自のアプリケーションクラウドの提供

当社グループでは、ホームセンター、スーパーマーケット、ボランタリーチェーン及びコンビニエンスストアなど多くの小売業に基幹システムを提供してまいりました。当社グループが蓄積してきた小売業の知見と最新の技術による次世代のシステムアーキテクチャーを融合した「流通クラウドシステム」の開発を進めています。これにより、顧客の経営改革と業務改革に貢献できる効率性の高いシステムを提供してまいります。既にファーストユーザーを受注し、システムの一部のリリースを 2017 年内に行う予定です。

3. 子会社間のコラボレーションの強化

平成 29 年 1 月 5 日付で横河電機株式会社より、製造業向けシステムのコンサルティングや開発に実績のある株式会社ワイ・ディ・シーの株式の 81%を取得して連結子会社といたしました。今後は、当社の IT コンサルティング&サービス事業に属する事業子会社である、フューチャーアーキテクト、フューチャーインスペース、FutureOne、マイクロ・シー・エー・デー、及びワイ・ディ・シー間の連携を強め、それぞれが強みを持つ知見、ソリューション及び技術力・開発力を相互に提供し、顧客により付加価値の高いサービスを提供してまいります。

(2) ニューメディア&ウェブサービス事業

株式会社eSPORTSは、販売が好調なプライベートブランドのトレーニング用品や人気のあるカジュアルバッグなどの戦略的な品揃えを強化してまいります。フューチャーグループのテクノロジーを活用し、価格や売れ筋の調査・分析やカスタマー対応を進化させるとともに、東京カレンダーと連携して、自社ECサイトの展開の強化やスマートフォンのアプリの開発を進めまいります。

東京カレンダー株式会社は、月間ページビューが4,000万に達した集客力と質の高い動画広告を自主作成できる仕組みを活かして、ウェブを中心に広告収入の増加を図ってまいります。第1四半期末に取得したオンライン婚活サービスを提供するマッチアラム株式会社と連携して、婚活イベントの実施や「東カレデート」アプリの提供をすることにより、ライフイベント支援の新サービスの展開を進めてまいります。

コードキャンプ株式会社は、法人向けのオンライン・オフラインのプログラミング教育を拡大することに加え、高校生向けに「家庭教師のトライ」と提携し、受講者数の増加を図ります。また、ニーズが高いITエンジニアへのスキルアップと転職支援のためのプログラミング教育サービスの拡大に努めることにより、収益基盤の確立と拡大を図ってまいります。

なお、平成29年12月期通期の連結業績予想につきましては、前回発表（平成29年4月28日付）からの変更はございません。

以上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャー株式会社 IR担当 中島

IR直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp